

HITAC E-800システム(エンハンス)

HITAC E-800システム(図1)は、分散処理を中心とし、多様化するコンピュータアプリケーションに対処するために開発した計算機システムで、発表以来多くのユーザーに利用されている。今回、分散処理ネットワークとしてホストシステムでの集中管理機能を中心に、エンハンスを実施したので紹介する。

1. エンハンス内容

(1) VOS 3 (Virtual storage Operating System 3)をホストシステムと

する階層形分散処理ネットワークを支援するプログラムとして、分散システム管理プログラムDISM/D (Distributed System Manager / Distributed)と、ホストコマンド制御プログラムHCCF/D (Host Command Control Facility / Distributed)をサポートする。DISM/DはVOS 3のDISM/H (Host)と連携して、分散機(E-800)のプログラム、ジョブ、データなどをホストシステムで集中管理する。HCCF/DはVOS 3のHCCF/H (Host)と連携し、ホストシステムから分散機(E-800)を操作可能

- とする。
- (2) 既発表のHITAC E-800/5, E-800/7に加えて、オフィスに設置するのに適した一体形きょう体モデルHITAC E-800/4, E-800/6をサポートする。HITAC E-800/4, E-800/6は、各々高さが70cm, 125cmのきょう体に、中央処理装置、フロッピーディスク装置及び磁気ディスク装置を収納でき、コンパクトな配置が可能である。
- (3) HITAC E-800/5, E-800/6及びE-800/7の主記憶容量を最大4 Mバイトに拡張する。
- (4) スタンドオン水平形磁気テープ装置(100ips: ストリーミングモード)及びMインタフェースチャネル経由の高速磁気テープ装置(125ips)をサポートする。
- (5) 生産管理端末及びHITAC L-320/30H, 50Hの接続をサポートする。
- (6) HITAC E-800/7に接続する高速演算機構の性能を向上し、32ビット浮動小数点加減算(レジスターレジスタ間) 1.0 μ s, 同乗算1.6 μ sとする。

(日立製作所 コンピュータ事業本部)

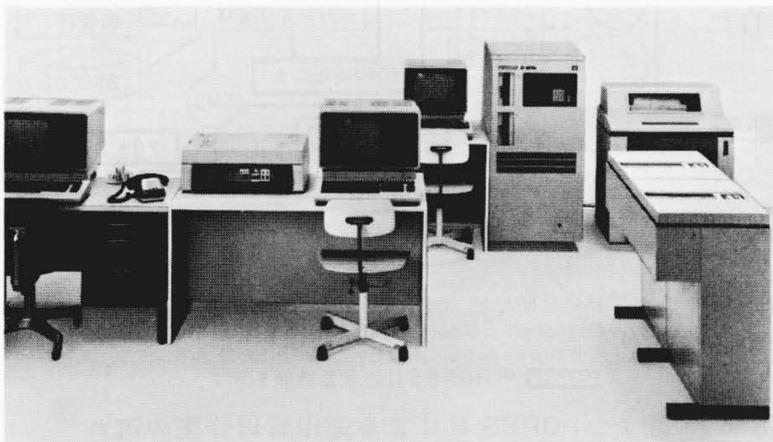


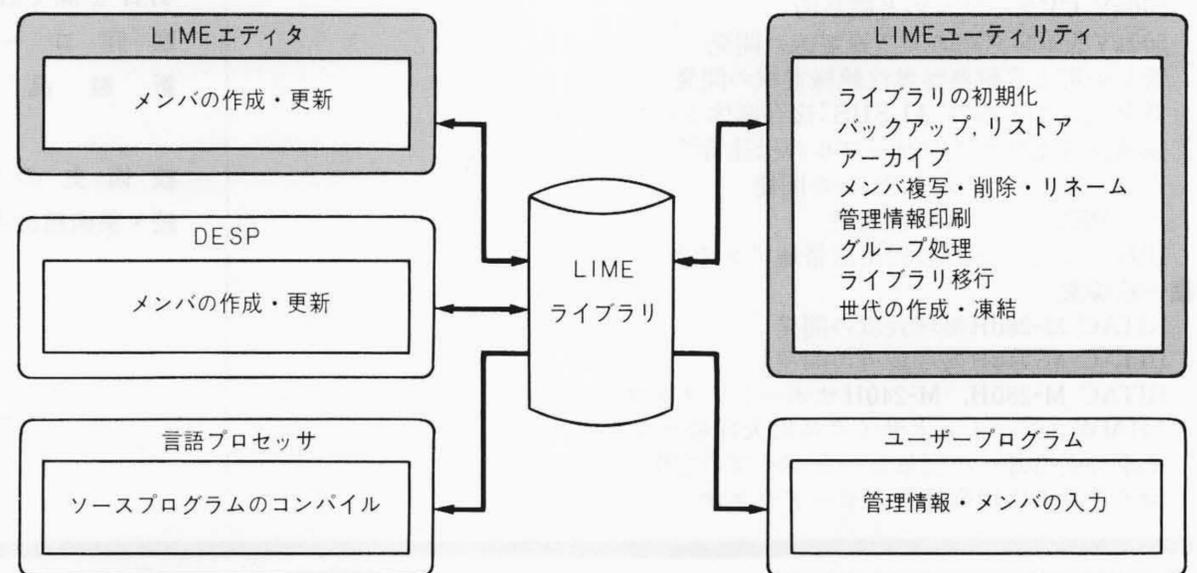
図1 HITAC E-800/6システム

VOS 3 ライブラリ管理システム“LIME”

VOS 3 (Virtual storage Operating System 3)ライブラリ管理システム“LIME” (Library Management and Editing System) は、ソースプログラムライブラリの集中的な管理によるプログラム開発・保守の効率化を目的としたプログラムプロダクトである。従来の区分データセットに代わる新形式のライブラリを採用しており、DASD (Direct Access Device) スペース量の削減、ライブラリの同時使用などを可能にしている。ソースプログラムライブラリを利用しているすべての分野で幅広く利用できる。

1. 主な特長

- (1) 無効領域が発生しないライブラリ構造、データの圧縮格納により、DASDスペース効率が大幅に向上する。
- (2) 同一ライブラリへの同時出力が可能であり、複数のユーザーがライブラリを同時に使用できる。
- (3) プログラム開発・保守の支援データとなる管理情報、統計情報を収集する。



注: 箇所は、LIMEとして提供される部分

図1 LIMEのプログラム構成と主な機能

- (4) 同一ライブラリ内でメンバ単位の世代管理が可能である。
- (5) DESP (Display Editor for Structured Programming) による画面編集が可能である。また、専用エディタ (LIME エディタ) によりバッチでの編集が可能である。
- (6) 現行の区分データセットを利用し

たソースライブラリからの移行が容易である。

2. プログラム構成と主な機能

プログラム構成と主な機能を図1に示す。

(日立製作所 コンピュータ事業本部)

